

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Systemic treatments for metastatic cutaneous melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	C Q20-13	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ II ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cochrane Database Syst Rev. 2000(2):CD001215.	
	雑誌 ID		
	巻		
	号		
	ページ		
	ISSN ナンバー	1469-493X (Electronic)	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ ）	
	発行年月	2000	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Crosby T,	Clinical Oncology, Velindre Hospital, Whitchurch, Cardiff, UK,
その他著者 1		Fish R,	
その他著者 2		Coles B,	
その他著者 3		Mason MD.	
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	進行期悪性黒色腫の全身療法（化学療法、免疫化学療法など）の有益性についての検討
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	進行期悪性黒色腫に対して、化学療法治療群が積極的な治療を行わずに緩和のみで様子を見る群やプラセボ群に対して有益性があるかを検討したRCTはなかった。
	結論	
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ⅠⅠ） 進行期悪性黒色腫に対して、化学療法治療群が積極的な治療を行わずに緩和のみで様子を見る群やプラセボ群に対して有益性があるかどうかという問題は、非常に重要な課題である。